United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization

UNESCO Associated Schools

# 平成２７年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成２７年４月～平成２８年３月

## １．学校概要

学校名　熊野町立熊野中学校

種　別　□保育園・幼稚園　□小学校　□小中一貫教育
■中学校　□中高一貫教育　□高等学校
□教員養成　□技術/職業教育
□特別支援学校　□その他（　　）

所在地　〒７３１－４２１４
広島県安芸郡熊野町中溝６－１－１

E-mail　kumanojh@piano.ocn.ne.jp

Website　http://kuma0109.ec-net.jp/

児童生徒数　男子　１３５名　女子　１５８名　合計　２９３名
児童・生徒の年齢　１３歳～　１５歳

## ２．実施活動（複数選択可）

□　地球規模の問題に対する国連システムの理解
□　国際理解
□　世界遺産
□　平和・人権
□　環境
□　気候変動
□　生物多様性
□　エネルギー
□　防災
□　食育
■　伝統文化
□　そのほか（　　）

３．活動内容

（１）１年間の主な活動内容について記載願います。

熊野町は，古くから筆産業が盛んであり，昔から「筆まつり唄」「筆踊り」など，地域の伝統文化として伝承されてきた。保護者の多くも筆に係る仕事に従事している。

熊野中学校は，平成 14 年度より，「地域文化の伝承と創造」をテーマにして，毎年，組曲「筆の都くまの」　に全校で取組んでいる。これは，これは熊野に伝わる民謡や踊りをもとに，太鼓・篠笛等の和楽器・吹奏楽を取り入れて創作したもので，約３０分間全校生徒で発表するものである。本年度は，１３代目の発表ができた。

毎年，学校の体育祭や文化祭に加え，地域の行事である「筆まつり」のふれあいステージや「町民体育大会」のアトラクションでも披露し，現在では町内外に「熊野中学校の組曲」として定着し，好評を得ている。また，小学生の中にも，「熊野中学校へ行って組曲をやりたい。」という児童も多くなっている。

この取組を進めるにあたって，地域の多くの方々から指導・助言をいただいている。筆踊りの指導にあたっては，振り付けの意味や踊りに込めた思いも踏まえながら，町内の女性会の方々から指導をいただいている。体育祭において組曲の前に，地域に伝わる「彼岸船」の紹介をするが，その彼岸船の飾り付けや引き方など，彼岸船保存会の方の指導を受けている。体育祭で準備した彼岸船は「筆まつり」で町の大きな彼岸船とともに町内をねり歩き，町民にアピールしている。

（２）活動時間について（下記から選択して下さい。）

■　通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
□　時間外活動の時間を使用
□　ユネスコクラブの活動として実施
□　その他（　　）